

早期回答を求める抗議集会

国労水戸

国労水戸地方本部
 水戸市中央1-1-11
 ENYビル2F
 029-221-4008
 発行責任者 塚原良雄
 編集責任者 坂下 司

JR間格差を許すな

3月30日、東京・盛岡の2会場でJR東日本に早期回答を求める抗議集会を開いた。

催し250名の仲間が結集した。

東本部挨拶、中央本部挨拶、書記長より提起があり、各地本より春闘報告、決意表明が報告されました。



国労東日本本部宮崎副委員長のあいさつより

結びつき
 つながり生かして
 大胆に
 国労加入を
 訴えよう!

国労は150000円の賃上げ、重点要求8項目を申し入れを行い、3月16日の回答を指定した。

しかし、3月30日時点で、JR東日本を除く全ての会社で回答が出された。

昨年引き続き年度を超えての回答となるような異常な状況である。

JRの動向により、グループ会社、下請会社にも影響があり、社員のモチベーションの低下、回答の引き延ばしに対して社員、家族に説明が必要である。会社に再々申し入れを行っても交渉日程を示さない、2年連続年度越えは許さないと集会終了後、会社と交渉後、翌日に妥結した。

JR各社の内容では九州を除いて昨年より割り込み、貨物会社については17年ベアスアップ無しとなっている

す。貨物会社はJR発足以降、2番目となる黒字化で、低額の期末手当と苦しい生活が長期化しています。社員の士気を高める為にも要求の実現を勝ち取らなければなりません。その為組織拡大は重要な取り組みであります。

生命と権利を守る

3・30集会

毎年開催している、生命と権利を守る3・30集会が3月29日に開催された。会社は事故当日、計画が無かった作業を行っていたとして下請け会社へ違反行為として公表した。

西山工務協議長、久古水戸地区分会長から、設備メンテナンスによる委託化は下請け、グループ会社などの事故多発による労働条件の低下が明らかで構造矛盾があると報告して頂きました。水戸地本は、林弘さんを



はじめ、亡くなられた方々の死を無駄にすることなく、労働者が安心して働ける職場づくりを改めて決意しました。



佐藤書記長より提起